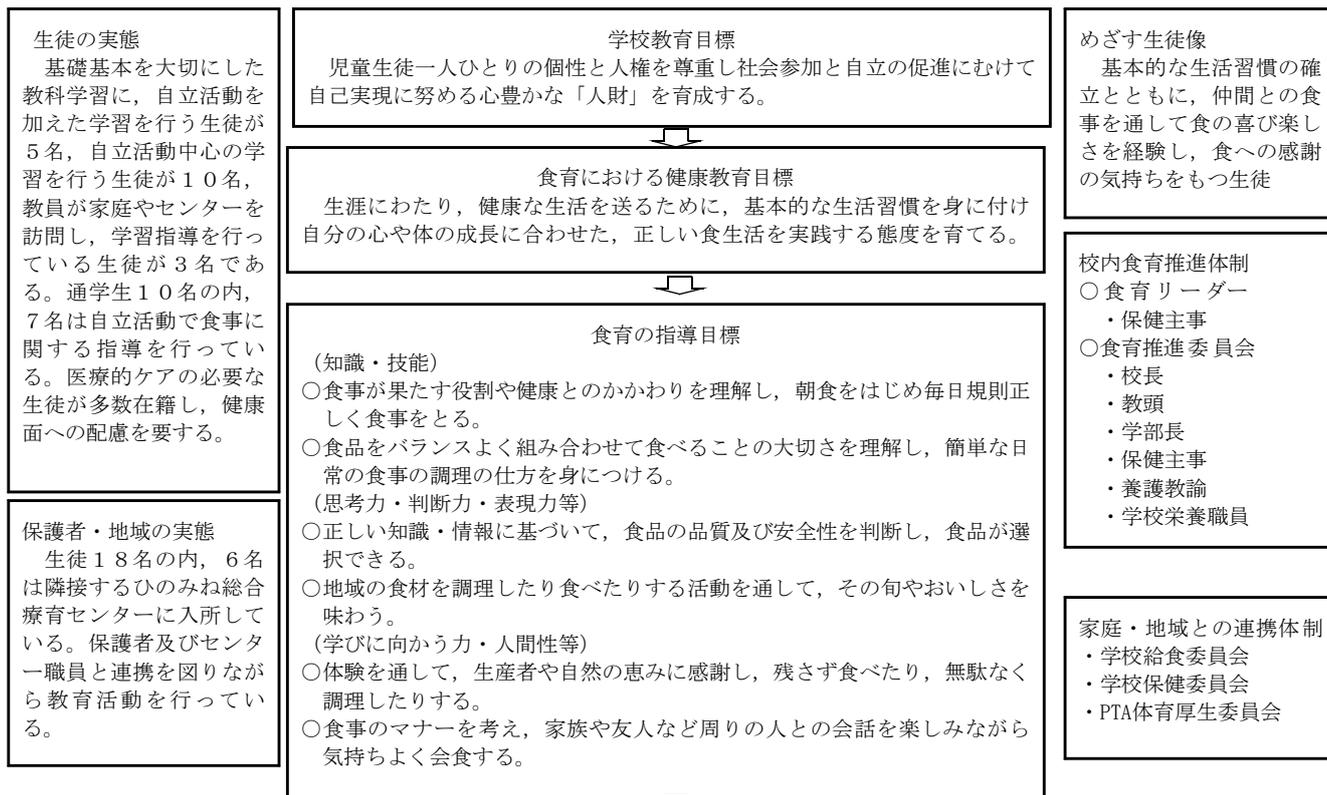


# 特別支援学校食育全体計画（中学部）

徳島県立ひのみね支援学校（中学部）



発達段階に応じた食育の到達目標	
I 段階	II 段階
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団学習等で飲食を楽しみ、食事の挨拶を通して食への感謝の気持ちを育てる。</li> <li>・収穫した野菜を調理したり食べたりする活動を通して、おいしさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のマナーやきまりを理解し、その場にふさわしい行動ができる力を育てる。</li> <li>・日常食べている食品や料理の名前や栄養について知る。</li> </ul>

		I 段階 ((全面的に支援が必要なレベル)	II 段階 (自分で行うには補助や指示が必要なレベル)	
各教科	理科 社会 技術・家庭 保健体育 道徳		<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の発芽と生長</li> <li>・植物の生活と種類</li> <li>・食を通して、まわりの人や地域・社会とのつながりについて考える。</li> <li>・食品や料理の名前がわかる。</li> <li>・三食規則正しく、バランスよく食事をとる大切さがわかる。</li> <li>・食品をバランスよく組み合わせる食べることの大切さを知る。</li> <li>・健康な生活と病気の予防</li> <li>・食生活と健康</li> <li>・楽しい生活習慣</li> </ul>	
合わせた指導	各教科等を 合科学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の野菜や果物を触ったり、匂いを感じたりする。</li> <li>・野菜等の栽培や収穫を通して、食材を身近に感じる。</li> <li>・食事の挨拶を通して、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。食事を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣</li> <li>・食事のマナーやきまりの理解</li> <li>・調理に必要な材料を選んで買う。</li> <li>・野菜の種まき、手入れ、収穫</li> <li>・お楽しみ会を開こう。</li> </ul>	
領域別の指導	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア、口唇訓練 (食事に関する指導)</li> <li>・好き嫌いをなく食事をとる。</li> <li>・献立内容や食材に興味関心をもつ。</li> <li>・捕食・咀嚼・嚥下機能が向上する。</li> </ul>	(食事に関する指導) ・捕食・咀嚼・嚥下機能が上達する。 ・準備・片付け	
特別活動	学級活動	(4月～7月) 新入生を迎える会 苗を植えよう 校外学習 買い物学習	(9月～12月) 校外学習 買い物学習 交流及び共同学習 収穫しよう	(1月～3月) 新年会 3年生を送る会 校外学習
学校行事	学校行事	身体計測等	体育祭 文化祭	
地場産物の活用等		きゅうり トマト びわ かまあげ 地域の名水 オクラ えだまめ イチゴ 唐辛子 落花生 ピーマン なす	サツマイモ ぶどう ちくわ	ラディッシュ 大根
給食行事				
PTA 行事				
個別指導		・給食サンプル展示会 ・肥満傾向児への指導 ・安全な飲食指導のための研修や情報収集 ・個々に合わせた食事指導 ・アレルギー調査→個別相談 (個別対応についての共通理解) など ・ST 来校指導 (食事)		
家庭・地域との連携		・食育だより年3回 (保護者用) 発行 ・学校保健委員会 ・栄養個別指導 (肥満等) ・地元の農家等との連携 (地産地消) ・旬の食材の使用		

## 中学部

### ○昨年度からの見直し点

- ・ 1段階の生徒については、昨年度に引き続き4校時の自立活動の時間に食事前の口腔ケア、口唇訓練を継続的に学習できるよう計画した。
- ・ 年度始めに、今年度も外部専門家（言語聴覚士：S T）より、食事時の姿勢、食事の摂取の支援方法等について指導を受ける時間を設定した。また、S Tによるコンサルテーションを設け、必要な場合は、食事指導に関する助言を得られるようにした。
- ・ 給食時の生徒同士の距離や机の配置など感染予防の観点から衛生管理を徹底した。

### ○創意工夫した点

- ・ 1段階の生徒には、水分補給時にとろみ剤などを利用し、安全に嚥下しやすい形態にして摂取して味覚を広げられるようにする。また、使用する用具もスプーンやシリンジなど生徒の実態に合わせている。
- ・ 学級活動において、野菜の栽培に生徒が主体的に取り組み、野菜の成長を知ることができるようにした。また、育てた野菜を活用し、味やにおいを体験するとともに模擬販売や調理実習などができるようにした。
- ・ 食育に関する各学級の取り組みを輪番で、「食育だより」に掲載し、保護者に広報する。